

別紙 3

委託業務に関する事故発生時の対応手順

1 目的

公立大学法人福島県立医科大学附属病院内において、委託業務に関連して業務上の事故（以下「事故」という。）が発生した場合の対応手順を定め、被害の拡大を防ぎ、迅速な対応を図ることを目的とする。

2 対象

- (1) 対象業務
医事課が所管する委託業務
- (2) 対象者
委託業務の委託者（以下、「甲」という。）及び受託者（以下、「乙」という。）

3 対応手順

- (1) 事故発生の確認
乙が事故を起こした者又は事故を発見した者である場合、事故が発生した場合は速やかに確認すること
 - ① どのような事故か
 - ② いつ発生したのか
 - ③ どこで発生したのか
 - ④ 被害者の有無について
 - ⑤ 二次災害の危険性の有無について
- (2) 事故発生の連絡
 - ① 乙は、上記（１）により事故の内容を確認後、４に定める緊急連絡表に基づき、直ちに事故発生の旨を甲へ連絡のうえ、その指示を受ける。
 - ② 甲は、直ちに現場の状況確認を行う。
 - ③ 甲は、被害者がある場合、直ちに救命救急センター外来へ連絡のうえ、被害者の受け入れ等を手配する。
 - ④ 甲は、必要に応じて、消防署、警察署等の関係機関へ連絡する。
- (3) 初期対応
 - ① 甲並びに乙は、可能な範囲で被害の拡大を防ぐための応急処置をする。
 - ② 甲並びに乙は、第三者などへ危害が及ばないよう、事故現場を立入禁止にするなど、二次災害の防止に努める。
 - ③ 甲並びに乙は、被害者がいる場合、当院救命救急センター外来に移送するなど、救急処置に努める。
- (4) 被害程度の確認及び報告
 - ① 乙は、事故による被害の程度など、事故の全体状況を確認のうえ、甲へ報告する。
 - ② 乙は、被害者がある場合、その被害の程度を確認のうえ、甲へ報告する。

- ③ 甲は、上記①②の報告を受けた場合、速やかに病院長及び事務局次長へ報告する。
- (5) 被害者、患者等の対応
 - ① 甲は、被害者がある場合、特に患者等が被害者の場合、事務局次長と連携のうえ、迅速に対応する。
 - ② 甲は、被害者の住所・氏名・年齢・勤務先等の情報を速やかに収集し、必要に応じて、その家族又は勤務先へ連絡する。
- (6) 事故原因の調査及び特定
乙は、事故の全体像を把握したうえで、事故発生時の原因を調査し、事故原因を特定する。
- (7) 事故報告書の作成
 - ① 乙は、事故が発生した場合には、事故の概要、経過および被害者情報などがわかる資料等を添付のうえ、事故報告書を作成し、甲に速やかに報告する。
 - ② 甲は、上記①の報告を受けた場合、病院長及び事務局次長へ報告する。
 - ③ 事後の処理結果についても上記①②を準用する。
- (8) 被害箇所の復旧
乙は、被害箇所があった場合、速やかに現状復旧に努めるものとする。

4 緊急連絡表

甲と乙の双方とも委託業務における事故発生に対応するため、緊急連絡表を作成する。

5 その他留意事項

- (1) 事故責任範囲の明確化
乙の過失により甲又は第三者に損害を与えた場合は、乙は損害賠償の責任を負う。
- (2) 乙の担当職員の交代
 - ① 受託責任者や担当者が交代する場合は、契約に則り、必ず経歴書を添付した変更届を提出させる。
 - ② 上記①の交代による事務引継は、業務に支障が出ないように、時間をかけて綿密に実施させる。